

自己評価報告書

令和6年2月

専修学校 徳島県美容学校

I. 学校の現状

学校名
専修学校徳島県美容学校

所在地
徳島県徳島市佐古二番町 3 - 5

沿革
昭和30年 9月 私立各種学校徳島高等美容学校として認可
昭和30年10月 厚生大臣指定徳島県美容師養成施設として夜間課程、通信課程を創立
昭和33年12月 校舎移転
昭和34年 3月 養成所廃止 徳島県美容業環境衛生同業組合立徳島高等美容学校設立
昭和52年 6月 校舎移転
昭和57年 4月 昼間課程設立、夜間課程廃止
昭和61年 1月 校舎改装
平成10年 新制度に変更
平成12年 4月 専修学校に変更
平成22年 4月 新校舎設立

学科の構成
衛生課程 美容科
衛生課程 美容ダブルライセンス科
衛生課程 別科 通信課程 美容科
衛生課程 別科 通信課程 美容ダブルライセンス科
学生数及び教員の数
衛生課程 学生総数32名
衛生課程 別科 学生総数70名

II. 学校の理念

教育理念

「笑顔と感謝の心」本校では、この言葉を重んじ、高い知識と技術のみならず、心ある人材を育成し、社会に貢献することを使命と考え、その基本姿勢を学則に記している。

(学則)

第1条 本校は教育基本法及び学校教育法並びに私立学校法に従い、人格の完成と、平和的な国家及び社会の形成者として、勤労と責任を重んじ自主的精神に充ちたる心身共に健康なる生徒を育成することを目指し、社会人としての教養と、近代的な感覚と、専門的な知識と技術を修得せしめ特に美容技術の研究研磨並びに衛生知識の向上をはかるを目的とする。

III. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標

国家試験対策の強化

社会人として、また美容師として必要な一般常識、接遇・マナーを身に付ける

実践力を身に付け、美容所で即戦力になれる力を付ける

計画（目標達成の為の具体的計画）

入学直後から接遇・マナーを教え、卒業時には礼儀をしっかりと身に付けた美容師になれるよう年間を通して育成を行う。

将来像について、しっかりと考える場をつくり、明確に自分の就職について目標を立てる。目標達成の為に必要な知識と技術は何なのかを自ら考え修得できるようにする。

目標を明確持つことで、自分に必要な知識や技術をはっきりとさせ、国家試験合格や就職活動に積極的に取り組ませる。

IV. 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標 適切…4, ほぼ適切…3, やや適切…2, 不適切…1

	評価項目	
1-1	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
1-2	・学校における職業教育の特色を定めているか	3
1-3	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
1-4	・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
1-5	・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学生、保護者や高校に対して、もっと積極的に学校の特色をアピールしてもいいのではないか。
現状のニーズをもっと把握して対応していきたい

②今後の改善方策

組合立の特色を生かして、組合員（現役の美容師）ともっともっと深く交流して、現状のニーズを把握し、また、今求められている技術の基礎を体験する。
高校まわりの回数を増やして、本校の特色や目標など説明する機会を増やす。
SNSを利用して、広く一般にも周知を行う。

③特記事項

2. 学校運営

適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
2-1	・目的に沿った運営方針が策定されているか	4
2-2	・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
2-3	・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	3
2-4	・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
2-5	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
2-6	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
2-7	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
2-8	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・年間計画を立て、大きな流れを知っておく必要がある。

②今後の改善方策

1年間、あるいは2年間という長いスパンの中で、小さな目標をたて、運営方針を決める。
業務の効率化を図るため、システムの見直しや追加を行う。

③特記事項

3. 教育活動

適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
3-1	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
3-2	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3-3	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3-4	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
3-5	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
3-6	・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
3-7	・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
3-8	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
3-9	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3
3-10	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
3-11	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
3-12	・関連分野における業界等との連携に於いて優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
3-13	・関連分野における先端的な知識・技能等を習得する為の研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3
3-14	・職員の能力開発の為の研修等が行われているか	3

① 課題

多彩な授業を繰り広げたい
 教員のスキルアップを図りたい
 カリキュラムに工夫を凝らしたい

5. 学生支援

適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
5-1	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
5-2	・学生相談に関する体制は整備されているか	3
5-3	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
5-4	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5-5	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
5-6	・学生の生活環境への支援は行われているか	3
5-7	・保護者と適切に連携しているか	3
5-8	・卒業生への支援体制はあるか	3
5-9	・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
5-10	・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3

① 課題

少しのトラブルから、学校を辞めてしまう子もいる。ちょっとした学生の変化を見逃すと、大きな問題にも発展する場合もあり、注意が必要

②今後の改善方策

学生の変化に気を付け、特に急に学校を休みだすなど、普段と違った行動、言動があれば、早めに対処する
引き続き、学生の体調には気を付け、感染症の拡大につながらないよう衛生面も徹底する
授業料等については、引き続き柔軟に対応していく

③特記事項

6. 教育環境

適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
6-1	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
6-2	・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	4
6-3	・防災に対する体制は整備されているか	3

① 課題

企業との連携を深め、もっと実践的な経験ができるようにしたい
 昨今、集中豪雨や地震なども増えているので、とっさの時にもパニックにならないように日頃から準備しておく必要がある

②今後の改善方策

インターンシップの日にちを増やし、実際の企業の様子や仕事の仕方などを体感する
 防災訓練を行い、自分達が何をすればいいのか、各自で把握をする
 いざという時に学生や教職員の安否確認ができるよう体制を整える

③特記事項

7. 学生の受け入れ募集

適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
7-1	・学生募集活動は、適正に行われているか	4
7-2	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-3	・学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題
パンフレットの情報量が少ない パンフレット以外の方法でも、募集、教育成果情報を伝えたい

②今後の改善方策
学校まわりが基本になるので、何回もまわり情報の伝達と収集を行う SNS等を利用し、直接高校生に情報が届くようにする OCを工夫し、一人でも多くの方に参加してもらえるようにする

③特記事項

8. 財務 適切… 4, ほぼ適切… 3, やや適切… 2, 不適切… 1

	評価項目	
8-1	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
8-2	・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
8-3	・ 財務について会計監査が適正に行われているか	3
8-4	・ 財務情報公開の体制整備はできているか	3

① 課題
毎年の入学者数の変動が大きい 財務について、一定期間ごとに適正かどうかのチェック体制を整えたい

②今後の改善方策
年度ごとに変動する財政需要を見据え、長期的視点に立った予算編成を行う。 新入生の確保に努めつつ、現有の財源を最大限に活用するため、将来を見据えた綿密な運用計画を策定し実行する。

③特記事項

9・法令等の遵守

適切…4, ほぼ適切…3, やや適切…2, 不適切…1

	評価項目	
9-1	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
9-2	・個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか	4
9-3	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
9-4	・自己評価結果を公表しているか	4

① 課題

法令等の遵守はできている。

②今後の改善方策

自己評価の結果をカリキュラム等に取り入れ、次年度以降の改善につなげる

③特記事項

10．社会貢献・地域貢献 適切…4, ほぼ適切…3, やや適切…2, 不適切…1

	評価項目	
10-1	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
10-2	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
10-3	・地域に対する公開講座、教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

ボランティアに参加する機会があまりない

②今後の改善方策

学校近辺の環境美化活動を起点として、学生たちに日常の生活空間の清潔さが自然な状態ではないことを認識させ、ゴミ拾いなどの些細な行為が地域の公衆衛生や安全性の向上に貢献することを体験的に学ぶ機会をつくる

